

<b>Course number</b>	U-LAS70 10001 SJ50				
<b>Course title (and course title in English)</b>	ILASセミナー：発達心理学 ILAS Seminar :Developmental Psychology		<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,OOKURA TOKUSHI	
<b>Group</b>	Seminars in Liberal Arts and Sciences		<b>Number of credits</b>	2	<b>Number of weekly time blocks</b> 1
<b>Class style</b>	seminar (Face-to-face course)	<b>Year/semesters</b>	2025・First semester		<b>Quota (Freshman)</b> 20 (15)
<b>Target year</b>	Mainly 1st year students	<b>Eligible students</b>	For all majors		<b>Days and periods</b> Fri.5
<b>Classroom</b>	11, Yoshida-South Campus Academic Center Bldg. North Wing			<b>Language of instruction</b>	Japanese
<b>Keyword</b>	臨床心理学関連 / 発達心理学 / 自己分析 / 青年期 / グループワーク				
( Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department. )					
<b>[Overview and purpose of the course]</b>					
受講生自身の自己分析と他者との語り合い、および発表と討論を通して、青年期の人格形成と心の動きを具体的に明らかにしていく。					
<b>[Course objectives]</b>					
自己分析を通して、自分の中のかすかな感覚や無意識的な心の動きに気づき、自分を大切にできるようになる。					
<b>[Course schedule and contents)]</b>					
0．自己分析の方法論（第1回） 1．アイスブレイキング（第2回） 2．青年期における基本的対人態度（第3～5回） 3．青年期における親（家族）との関係（第6～8回） 4．青年期における友人関係(第9～11回） 5．青年期における愛と性愛（第12～14回） 6．フィードバック（第15回）					
<b>[Course requirements]</b>					
後期の人文・社会科学科目群「発達心理学基礎ゼミナール」との連続履修を推奨する。					
<b>[Evaluation methods and policy]</b>					
各回の自己分析内容と討論への参加度、およびレポートによって評価する。詳しくは授業中に説明する。					
<b>[Textbooks]</b>					
Not used					
<b>[References, etc.]</b>					
<b>（References, etc.）</b> 大倉得史『拡散 diffusion ～「アイデンティティ」をめぐり、僕達は今～』（ミネルヴァ書房） E.H．エリクソン『アイデンティティとライフサイクル』（誠信書房）					
----- Continue to ILASセミナー：発達心理学(2) -----					

## ILASセミナー：発達心理学(2)

西平直 『魂のアイデンティティ』（金子書房）  
河合隼雄 『大人になることの難しさ』（岩波書店）  
新宮一成 『夢分析』（岩波新書）  
S.フロイト 『夢解釈 ・ 』（岩波書店）

### [Study outside of class (preparation and review)]

夢を記録し、自己分析すること。  
青年期に関する文献を集めておくこと。

### [Other information (office hours, etc.)]

・自己分析のワーク中心の授業となる。自分自身と向き合い、自分の内面を他者に伝えるという作業ができるかどうか、よく検討してから受講すること。

・初回の授業でエントリーシートの記入や授業の進め方の解説など、非常に重要な作業を行うので必ず出席すること（抽選に通っていても初回到欠席した場合、特段の事情がない限り受講は認めない）。

### [Essential courses]